



2021年9月21日

各位

会社名 株式会社 Orchestra Holdings
 代表者名 代表取締役社長 中村 慶郎
 (コード番号：6533 東証第一部)
 問合せ先 取締役 CFO 五代儀 直美
 (TEL. 03-6450-4307)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の動向等を踏まえ、2021年2月12日に公表しました2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 14,200	百万円 870	百万円 865	百万円 540	円 銭 55.16
今回修正予想（B）	15,620	1,131	1,124	702	71.69
増減額（B－A）	1,420	261	259	162	-
増減率（％）	10.0	30.0	30.0	30.0	-
（参考）前期連結実績 （2020年12月期）	11,825	686	683	435	47.29

2. 修正の理由

デジタルマーケティング事業において、インターネット広告市場が伸長する環境のもと、市場の成長を取り込むべく、既存取引先への追加提案、新規顧客の開拓に注力してまいりましたが、当初の想定を上回る勢いで受注が堅調に推移しております。また、デジタルトランスフォーメーション事業においては、特に注力しているSalesforce案件の受注が好調に推移していることに加えて、第2四半期における採用・教育活動についても順調に進んだことから、早期に開発体制を強化することができ、想定よりも利益率が改善する見通しとなりました。

一方で費用面については、2019年5月30日に発行した業績連動型新株予約権の行使条件である連結営業利益10億円（当該新株予約権にかかる株式報酬費用を除く）を超える見込みとなったため、当該新株予約権にかかる株式報酬費用約128百万円を第3四半期に計上する予定であり、業績予想に反映しております。なお、株式報酬費用については金銭の支出を伴わない費用であります。

以上の結果、売上高、各利益とも前回予想を上回る見込みとなったため、通期の連結業績予想を上方修正いたします。

以上